

補正予算概要

令和2年度一般会計補正予算（第6号）

I 令和2年度 一般会計補正予算（第6号）総括表

1 款別内訳

(歳入歳出予算補正)	補正前予算額	92,671,726千円
	補正額	1,243,937千円
	補正後予算額	93,915,663千円

(歳入)

款	当初予算額	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額
15 国庫支出金	12,085,867	31,826,311	901,289	32,727,600
16 都支出金	9,976,233	10,438,493	158,500	10,596,993
19 繰入金	1,243,523	1,529,526	184,148	1,713,674
歳入合計	72,184,476	92,671,726	1,243,937	93,915,663

(歳出)

款	当初予算額	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額
3 民生費	37,015,397	37,769,706	308,049	38,077,755
4 衛生費	4,291,634	4,360,290	10,468	4,370,758
7 商工費	479,011	945,929	672,702	1,618,631
9 消防費	2,210,571	2,210,571	77,786	2,288,357
10 教育費	8,301,536	8,488,530	174,932	8,663,462
歳出合計	72,184,476	92,671,726	1,243,937	93,915,663

2 施策別内訳

(1) 感染者等の受け入れ体制の整備

(歳入歳出予算補正)

款(歳入)	歳入補正額	事業名
小計	0	

(2) 非常時への備え

(歳入歳出予算補正)

款(歳入)	歳入補正額	事業名
小計	0	

(3) 市民生活の支援

(歳入歳出予算補正)

款(歳入)	歳入補正額	事業名
15 国庫支出金	80,526	<関連歳入 80,526> 生活困窮者住居確保給付金負担金の増 80,526
小計	80,526	

(単位:千円)

款(歳出)	歳出補正額	事業名	
3 民生費	48,474	〈家族が新型コロナウイルスに感染した市民の宿泊施設の整備	48,474〉
		新型コロナウイルス感染者家族等支援事業費	48,474
小計	48,474		

(単位:千円)

款(歳出)	歳出補正額	事業名	
4 衛生費	9,028	〈感染症予防用の備蓄品の充実	9,028〉
		新型コロナウイルス感染症対策関係費	9,028
9 消防費	77,786	〈避難所での感染症対策	77,786〉
		災害対策備蓄等整備事業費の増	77,786
小計	86,814		

(単位:千円)

款(歳出)	歳出補正額	事業名	
3 民生費	107,368	〈住居確保給付金による生活支援	107,368〉
		生活困窮者住居確保給付金支給事業費の増	107,368
小計	107,368		

(4) 中小企業の経営継続支援

(歳入歳出予算補正)

款(歳入)	歳入補正額	事業名
小計	0	

(5) 協働事業者の支援

(歳入歳出予算補正)

款(歳入)	歳入補正額	事業名
小計	0	

(単位:千円)

款(歳出)	歳出補正額	事業名	
7 商工費	4,604	〈三鷹商工会との協働による経営相談の拡充 商工会助成事業費の増	4,604 4,604
7 商工費	5,018	〈創業間もない事業者への支援 創業者支援事業費の増	5,018 5,018
7 商工費	10,057	〈「新しい生活様式」に対応するための環境整備の支援 中小企業感染防止対策支援事業費	10,057 10,057
7 商工費	653,023	〈プレミアム付商品券の発行による市内商業の活性化 プレミアム付商品券事業費	653,023 653,023
小 計	672,702		

(単位:千円)

款(歳出)	歳出補正額	事業名	
4 衛生費	1,440	〈ごみ収集業務委託事業従事職員の応援 ごみ収集業務従事者等応援事業費	1,440 1,440
小 計	1,440		

(6) 子ども・子育て施設での事業継続支援と「新しい生活様式」への対応

(歳入歳出予算補正)

款(歳入)	歳入補正額	事業名	
		<関連歳入	143,400>
15 国庫支出金	78,900	子ども・子育て支援交付金の増	36,900
		保育対策総合支援事業費補助金の増	42,000
16 都支出金	64,500	新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業費補助金	50,100
		私立幼稚園新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金	14,400
小 計	143,400		

(7) 小・中学校における保護者負担の軽減と「新しい生活様式」への対応

(歳入歳出予算補正)

款(歳入)	歳入補正額	事業名	
		<関連歳入	84,000>
15 国庫支出金	40,000	学校保健特別対策事業費補助金	40,000
16 都支出金	44,000	新型コロナウイルス感染症対策支援事業補助金	44,000
小 計	84,000		

(単位:千円)

款(歳出)	歳出補正額	事業名	
3 民生費	143,400	<保育施設等における感染症防止対策	143,400>
		新型コロナウイルス感染症対策関係費	143,400
3 民生費	8,807	<保育施設等従事職員への応援	8,807>
		保育施設等従事職員応援事業費	8,807
小計	152,207		

(単位:千円)

款(歳出)	歳出補正額	事業名	
10 教育費	50,842	<1学期中における学校給食費の一部公費負担	50,842>
		学校給食関係費の増	50,842
10 教育費	121,800	<学校再開後の教育活動支援	121,800>
		学校管理運営費、学校教育振興費、学校保健衛生費、 就学時健康診断関係費(小学校費)の増	86,150
		学校管理運営費、学校教育振興費、学校保健衛生費 (中学校費)の増	35,650
10 教育費	2,290	<就学援助対象者の拡充	2,290>
		就学援助・奨励関係費(小学校費)の増	822
		就学援助・奨励関係費(中学校費)の増	1,468
小計	174,932		

(8) 新たな財源確保

(歳入歳出予算補正)

款(歳入)	歳入補正額	事業名	
15 国庫支出金	701,863	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増	701,863
16 都支出金	50,000	市町村総合交付金の増	50,000
小計	751,863		

国及び東京都交付金の充当内訳

(単位：千円)

事業名	事業費	地方創生臨時交付金	市町村総合交付金	一般財源
家族が新型コロナウイルスに感染した市民の宿泊施設の整備	48,474	46,598	—	1,876
避難所での感染症対策	77,786	74,775	—	3,011
プレミアム付商品券の発行による市内商業の活性化	653,023	531,616	50,000	71,407
1学期中における学校給食費の一部公費負担	50,842	48,874	—	1,968
合計	830,125	701,863	50,000	78,262

(9) 財源不足の調整

(歳入歳出予算補正)

款(歳入)	歳入補正額	事業名	
19 繰入金	184,148	財政調整基金とりくずし収入の増	184,148
小計	184,148		

歳入合計	1,243,937		
------	-----------	--	--

(単位:千円)

款 (歳出)	歳出補正額	事業名
小 計	0	

(単位:千円)

款 (歳出)	歳出補正額	事業名
小 計	0	

歳 出 合 計	1,243,937	
---------	-----------	--

Ⅱ 令和2年度 基金運用計画

(7月補正後)

一般会計

区 分	元年度末 現在高	当年度利子相当額 積立予算額	当年度元金 積立予算額
財政調整基金	3,305,578	当初 2,806	当初 [3号] 224,942
まちづくり施設整備基金	3,283,759	当初 2,071	当初 315,310
平和基金	283,690	当初 29	当初
庁舎等建設基金	2,453,363	当初 737	当初
健康福祉基金	1,465,945	当初 441	当初
子ども・子育て基金	1,527,686	当初 459	当初
環境基金	69,778	当初 31	当初 30,345
合 計	12,389,799	当初 6,574	当初 345,655 [3号] 224,942

介護保険事業特別会計

介護保険保険給付費準備基金	687,210	当初 86	当初 24,991
---------------	---------	-------	-----------

(単位 千円)

当年度繰入 予 算 額	当年度末 残高見込	備 考
当初 521,294	当初 2,787,090	
[4号] 1,300	[3号] 3,012,032	
[6号] 184,148	[4号] 3,010,732	
	[6号] 2,826,584	
当初	当初 3,601,140	
当初 9,610	当初 274,109	非核・平和事業に充当予定
当初	当初 2,454,100	
当初 272,000	当初 1,194,386	下記事業に充当予定 介護人財確保事業、旧どんぐり山施設利活用、 産後ケア事業等
当初 404,000	当初 1,124,145	下記事業に充当予定
[2号] 284,703	[2号] 839,442	保育士等キャリアアップ事業、認可外保育施設 等利用助成事業、小中学生学力・学習調査等
当初 36,618	当初 63,536	下記事業に充当予定 集団回収助成事業、先導的環境活動支援事業等
当初 1,243,522	当初 11,498,506	
[2号] 284,703	[2号] 11,213,803	
[4号] 1,300	[3号] 11,438,745	
[6号] 184,148	[4号] 11,437,445	
	[6号] 11,253,297	
当初 327,343	当初 384,944	保険給付事業等に充当予定

Ⅲ 補正予算に計上した事業等

※事業名の右に記載の金額は補正予算額です。

※事業名の下段〈 〉内は、予算書における事項名です。

■ 感染者等の受け入れ体制の整備

民生費

1 家族が新型コロナウイルスに感染した市民の宿泊施設の整備 48,474千円

〈新型コロナウイルス感染者家族等支援事業費〉

新型コロナウイルス感染者の家族等で、自身は陰性であるものの高齢等の理由により在宅での生活が難しい市民を支援するため、旧どんぐり山を活用し、ショートステイ機能を有した暫定施設を整備します。

〔事業概要〕

- 対象者 家族が感染したことにより、自宅での生活が困難な高齢者・障がい者等のうち、以下の要件を満たす市民（申請に基づき市が決定）
- ・PCR検査で本人の陰性が確認されていること。
 - ・介護サービス等を活用した在宅での生活が困難であること。
 - ・民間事業所によるショートステイ等の利用が困難であること。
- ※必要に応じて、子どもの受け入れを行います。
- 運営方法
- ・三鷹市社会福祉事業団等と連携し、利用者の状況に応じた、施設の利用に向けた調整を行い、ショートステイを行う際に必要となる支援内容を決定します。
 - ・訪問介護事業所に委託し、必要に応じてヘルパーを配置して利用者のケアを行います。
- 施設利用
- ・利用者の必要に応じたケアと健康観察
 - ・指定の配食サービスを利用した食事の提供（実費負担）
 - ・掃除、洗濯等
- 施設概要 出入口：地下1階、居室・事務所：3階、浴室：2階・地下1階
- 利用定員 1日当たり3人
- 利用開始 令和2年10月から
- その他
- ・在宅で濃厚接触者等へのケアを行う事業者を支援するため、感染対策等に必要な物資を備蓄・供給します。
 - ・空きフロアや設備等を活用し、実務的な研修の実施を希望する団体に無償でスペース提供します。
 - ・災害時に地域の避難スペースとして活用します。

【財源内訳】

国庫支出金	46,598千円	一般財源	1,876千円
-------	----------	------	---------

■ 非常時への備え

衛生費

1 感染症予防用の備蓄品の充実 9,028千円

〈新型コロナウイルス感染症対策関係費〉

新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波に備えて、医療救護所等の備蓄品（防護服、手指消毒薬、グローブ、マスク）の補充や障がい及び高齢者福祉施設等の民間事業者用の防護服等の調達を行います。

消防費

2 避難所での感染症対策 77,786千円

〈災害対策備蓄等整備事業費〉

「避難所における新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン（素案）」を踏まえ、感染症対策として、避難所用のパーテーションや衛生用品を配備します。

〔事業概要〕

- ・パーテーションの配備 68,615千円

災害が発生し避難所を開設する場合に、過密な状況が想定されることから、飛沫感染防止対策としてパーテーション（2,345張）を新たに配備

- ・衛生用品の購入 9,171千円

市内の各避難所に防護服（10セット）、アルコール消毒液（10リットル）、サージカルマスク（3,000枚）を配備

【財源内訳】

国庫支出金	74,775千円	一般財源	3,011千円
-------	----------	------	---------

■ 市民生活の支援

民生費

1 住居確保給付金による生活支援

107,368千円

〈生活困窮者住居確保給付金支給事業費〉

休業や離職等に伴う収入減少により住居を失うおそれが生じている方へ支給する住居確保給付金について、見込みを上回る申請件数があることから事業費を増額するとともに、国の制度改正を踏まえて追加支給を行うなど、拡充して実施します。

〔事業概要〕

- ・ 申請件数の増加による事業費の増額 107,034千円 (2,163件)
参考 過去3年(平成29～令和元年度)平均実績額 6,477千円 (127.3件)
令和2年度支給見込額 144,234千円 (2,861件)
- ・ 国の制度改正による追加支給額 334千円 (13件)
算定に用いる住宅費を住宅扶助基準額から実家賃額へ変更します(令和2年7月1日適用)。また、6月支給対象者については、4月から遡及適用し、4～6月分の差額を追加支給します。

【財源内訳】

国庫支出金	80,526千円	一般財源	26,842千円
-------	----------	------	----------

■ 中小企業の経営継続支援

商工費

1 三鷹商工会との協働による経営相談の拡充 4,604千円

〈商工会助成事業費〉

売上減少等の影響を受けている市内の中小企業等に対し、三鷹商工会との協働により実施している経営相談窓口の開設期間を延長するとともに、相談件数が増加し予約待ちの状況にあることから、相談体制の拡充を図ります。

〔事業概要〕

実施期間	令和2年9月30日まで延長
人 員	中小企業診断士を1人増員
拡充内容	中小企業診断士による経営全般の相談に加えて、補助金等のオンライン申請の手順等の相談体制の拡充

2 創業間もない事業者への支援 5,018千円

〈創業者支援事業費〉

新型コロナウイルス感染症の影響拡大により業績が悪化し、経営基盤が弱く創業間もない市内事業者に対して、創業等に要する経費の一部補助を行い、事業継続を支援します。

〔事業概要〕

補助金名	創業者臨時応援補助金
対 象 者	令和2年3月から8月に市内で新規創業を行った事業者 (売上要件はなし)
対象期間	創業日前2か月から創業日後3か月までの5か月間の創業等に要する経費
対象経費	・土地や建物の取得、建築に係る経費や事務所の増改築、改修に係る経費などの施設設備費 ・店舗等の賃借料、共益費や販路開拓に係る広告宣伝費などの施設運用費
補助金額	上限20万円(対象経費のうち1/2)

3 「新しい生活様式」に対応するための環境整備の支援 10,057千円

〈中小企業感染防止対策支援事業費〉

新型コロナウイルス感染防止対策を実施する中小企業者に対し、東京都の補助制度と連携して、経費の一部補助を行い、事業継続の支援と安心して店舗や事務所等を利用できる環境整備を促進します。

〔事業概要〕

補助金名	コロナに負けない環境づくり補助金
対象者	市内に事業所等を有し、引き続き市内で事業継続の意思がある中小企業者
対象期間	令和2年2月1日から令和3年3月31日までに要する経費
対象経費	設備工事費、備品購入費、販売促進費、委託費、備品リース費のうち15万円以下の経費
補助金額	上限10万円（対象経費のうち2/3）

4 プレミアム付商品券の発行による市内商業の活性化

653,023千円

〈プレミアム付商品券事業費〉

新型コロナウイルス感染症の影響が広がり消費が低迷する中で、地域経済の活性化に向けて消費を喚起するとともに、市民の生活を経済的に支援するため、プレミアム付商品券の販売を行います。事業の実施に当たっては、地域通貨やボランティアポイントとしての活用を見据えた実証実験として、スマートフォン等で利用できるデジタル商品券を発行し、新しい生活様式におけるキャッシュレス決済を促進するとともに、紙の商品券も併用します。

〔事業概要〕

(1) 経過

令和元年12月に三鷹まちづくり総合研究所に「みたか地域通貨・ボランティアポイント研究会」を設置し、事務局として、NPO法人三鷹ネットワーク大学が地域通貨に関する地元金融機関との連携についての検討をスタートさせました。検討を進める中で、ネットワーク大学の賛助会員である株式会社みずほ銀行三鷹支店から地域貢献に関する申し出があり、令和2年5月に、両者の間で「地域通貨及びボランティアポイントを活用した新たなまちづくりの研究」に関する共同研究協定を締結しました。

その一方で、市においても、新たな参加と協働の仕組みづくりの中で、ボランティアポイントの活用とその手法について検討するとともに、地域経済の起爆剤としての商品券事業の実施に向けた検討を進めてきました。

(2) 事業の位置づけ

三鷹ネットワーク大学と株式会社みずほ銀行との共同研究の中で、スマートフォンを活用したデジタル商品券に係る検討が行われていたことから、今般、将来的な地域通貨等の実証実験と位置付けて、プレミアム付デジタル商品券を発行することとしました。実施に当たっては、三鷹商工会、株式会社まちづくり三鷹を含めた5者で協定を締結し、オール三鷹でまちの活性化を図ります。

(3) 商品券の内容

	デジタル商品券	紙商品券
発行総額	1,500,000千円（プレミアム分500,000千円）	
発行額面	1,050,000千円	450,000千円
プレミアム率	50%	
対象者	市内在住、在勤、在学、在活者	市内在住者
販売期間	令和2年10月1日～令和3年2月15日	令和2年10月1日～30日
使用期間	令和2年10月1日～令和3年2月28日	
販売単位	1,000円以上（額面1,500円） 1,000円単位	1冊5,000円（額面7,500円） 500円券、15枚綴り
支払単位	1円単位	500円単位（おつりは出ません）
購入上限	3万円（額面4万5,000円）／1人	
購入方法	みずほ銀行WEBサイトから申請 （市HPにリンクを設置）	販売窓口での購入 市内郵便局、各コミュニティ・センター等と調整中

(4) デジタル商品券の購入支援

市民がデジタル商品券を購入する際のサポートをセミナー形式にて実施し、新しい生活様式におけるキャッシュレス決済の普及を図ります。

開催予定日 令和2年9月29日（火）～10月2日（金）
各日午前午後1回ずつ（8回）

【財源内訳】

国庫支出金	531,616千円	都支出金	50,000千円
一般財源	71,407千円		

■ 協働事業者の支援

衛生費

1 ごみ収集業務委託事業従事職員の応援 1,440千円

<ごみ収集業務従事者等応援事業費>

新型コロナウイルスの感染リスクがある厳しい状況下において、日々の生活に必要な不可欠な業務として、家庭系ごみの収集に従事している職員に対し、感謝の意を込めて全国共通の商品券と熱中症対策に活用できる冷却タオルを贈呈します。

[事業概要]

- | | |
|------|------------------------------------|
| 対象者 | 市が委託している事業者で、家庭系ごみの収集運搬業務に従事している職員 |
| 応援内容 | 全国共通の商品券（1人5千円分）、冷却タオル贈呈 |

■ 子ども・子育て施設での事業継続支援と「新しい生活様式」への対応

民生費

1 保育施設等における感染症防止対策 143,400千円

<新型コロナウイルス感染症対策関係費>

保育施設等において、感染症防止対策を適切に実施するため、国及び東京都の補助金を活用し、民間施設に対する衛生用品等の購入支援を実施します。なお、公立施設についても、必要な衛生用品等を配備します。

〔事業概要〕

対象施設	保育園・幼稚園等、親子ひろば、一時預かり施設 など
対象経費	保育施設等における感染防止用の衛生用品・備品購入経費
助成金額	令和元、2年度の2か年で1施設当たり100万円以内
実施方法	事業者からの申請書と購入実績資料の提出により、年度末に一括して補助金を交付

【財源内訳】

国庫支出金 78,900千円 都支出金 64,500千円

2 保育施設等従事職員への応援 8,807千円

<保育施設等従事職員応援事業費>

緊急事態宣言後においても、保育サービスや子育て支援サービスを継続し、子どもと職員の感染防止に細心の注意を払いながら業務に従事する保育施設等の職員に感謝の意を込めて、全国共通の商品券を贈呈します。

〔事業概要〕

対象者 市内の保育園・幼稚園等、学童保育所、親子ひろば、一時預かり施設、病児保育施設、母子生活支援施設で継続してサービスに従事している職員（135施設 1,757人）

応援内容 全国共通の商品券（1人5千円分）贈呈

■ 小・中学校における保護者負担の軽減と「新しい生活様式」への対応

教育費

1 1学期中における学校給食費の一部公費負担 50,842千円

〈学校給食関係費（事務局費）〉

令和2年6月1日から再開した1学期中における学校給食費の2分の1を公費負担とし、新型コロナウイルス感染症の影響による家計への負担の軽減を図ります。

〔事業概要〕

児童・生徒1人当たりの公費負担額 3,718～5,263円（6、7月分）

【財源内訳】

国庫支出金	48,874千円	一般財源	1,968千円
-------	----------	------	---------

2 学校再開後の教育活動支援 121,800千円

〈学校管理運営費（小学校費・中学校費）、学校教育振興費（小学校費・中学校費）、学校保健衛生費（小学校費・中学校費）、就学时健康診断関係費〉

感染症対策等を徹底しつつ児童・生徒の学習保障を行うため、国及び東京都の補助制度を活用し、「新しい生活様式」に対応した学校再開後の教育活動の支援を行います。

〔事業概要〕

- ・管理用消耗品・備品の購入
網戸、サーキュレーター、レバー式水道栓 など
 - ・保健用消耗品・備品の購入
収納式ベッド、アクリル板、消毒液 など
 - ・教材用消耗品・備品の購入
 - ・就学时健康診断用消耗品の購入
- ※学校の状況に応じて、物品の購入を行います。

【財源内訳】

国庫支出金	40,000千円	都支出金	44,000千円
一般財源	37,800千円		

3 就学援助対象者の拡充 2,290千円

〈就学援助・奨励関係費（小学校費・中学校費）〉

就学援助の認定基準（前年度所得）を満たさない場合においても、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う休業や解雇等により収入状況が急変した世帯が就学援助の対象になるように、要件を緩和します。

〔事業概要〕

対象者見込数 20人

■ 新たな財源確保

国庫支出金

1 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 701,863千円

新型コロナウイルス感染症への対応を支援するため、家賃支援を含む事業継続や雇用維持などのほか、「新しい生活様式」等への対応を図る観点から、国の第2次補正予算で2兆円増額され、第1次補正予算とあわせて3兆円となりました。旧どんぐり山施設を活用した、家族が新型コロナウイルスに感染した市民の宿泊施設の整備、避難所での感染症対策、プレミアム付商品券の発行による市内商業の活性化、1学期中における学校給食費の一部公費負担の財源として活用します。

都支出金

2 市町村総合交付金（まちづくり振興対策地域特選枠） 50,000千円

地域の実情を踏まえた独自の創意工夫により取り組む事業等が対象となる「地域特選枠」を、プレミアム付商品券の発行による市内商業の活性化の財源として活用します。

[充当内訳]

(単位 千円)

事業名	予算額	地方創生臨時交付金	市町村総合交付金	一般財源
家族が新型コロナウイルスに感染した市民の宿泊施設の整備	48,474	46,598	—	1,876
避難所での感染症対策	77,786	74,775	—	3,011
プレミアム付商品券の発行による市内商業の活性化	653,023	531,616	50,000	71,407
1学期中における学校給食費の一部公費負担	50,842	48,874	—	1,968
計	830,125	701,863	50,000	78,262

※一般会計補正予算の第2号、第3号、第6号及び予備費により対応した事業をあわせた一般財源負担を踏まえ、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、市町村新型コロナウイルス感染症緊急対策特別交付金及び市町村総合交付金の充当について整理し、今後、必要に応じて補正予算により財源の振替え等を行います。

令和2年7月

補正予算概要

令和2年度一般会計補正予算（第6号）

発行 三鷹市
三鷹市野崎一丁目1番1号
法人番号：8000020132047
作成 三鷹市企画部財政課
0422-45-1151（内線 2122～2128）

この冊子は庁内で印刷・製本しています。

